

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 小学部 算数
		箱の形を調べよう
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	箱の形を調べよう
	授業の目標	「直方体と立方体の特徴や性質」、「直線や平面の垂直と平行の関係」、「平面上や空間のある物の位置の表し方」などを理解し、図形についての豊かな感覚をもつ。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第4学年 2人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input checked="" type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・直感的なひらめきや感覚で捉えた事柄を、言語によって思考したり、まとめたりして、理解することができる。 ・物事を論理的に理解することが難しく、思考に広がりをもたせることが難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・機器=iPad ・アプリ=Numberkiz
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 展開図から、立方体の形をイメージすることができる。
授業に授お業け展る開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<ul style="list-style-type: none"> ・立方体の展開図を考える。 ・面の形が全て同じであることや面の数を確認する。 ・iPad上にあるいくつかの展開図から一つを選ぶ。 ・展開図が立方体になっていく様子をiPad上で確認する。 ・もう一つの展開図を選んでiPad上で確認する。 ・二人が選んでいない展開図を板書する。 ・この展開図が立方体になっていく様子をイメージする。 ・イメージできたかどうか確認する。 ・教師が示した辺が、どの辺と重なるかを確認する。 ・教師が示した頂点が、どの頂点と重なるかを確認する。 ・正解をiPad上で確認する。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadに興味をもち、iPadを活用した授業に意欲的に取り組むことができた。 ・アプリを使うことで、立体図形の展開の様子をイメージすることができた。